

現在の景気：県内景気は、緩やかな持ち直し傾向が続いている。非製造業では、物価高による節約志向の影響もみられるものの、観光や飲食などの対面型サービス業を中心に回復が続いている。製造業の生産が増加している。建設需要は、交通インフラ整備などの公共工事請負額の増加を背景に底堅く推移しているが、住宅をはじめとする民間部門では、建設コスト上昇や人手不足の影響から動きの鈍い状態が続いている。

3 か月程度の見通し：非製造業は、物価高や人手不足の影響を受けつつも対面型サービス業を中心に持ち直しの動きが続き、製造業は、生産の増加傾向が続くとみられる。政府の経済対策の効果が期待される一方で、地政学リスクを含めて先行きの不確実性が高い状態が続いている。

個人消費：①物価高による節約志向もみられるものの、底堅さを維持している。②11月の県内百貨店（存続店ベース）の売上は、前年同月比1.7%増と2か月連続で前年を上回った。冬物衣類の好調に加えて、弱めの動きが続いていた食料品でも、生鮮食品などで持ち直しがみられた。12月以降も、季節商材を中心に底堅い消費が続いている模様。11月の自動車登録台数は、前年同月比7.3%減と7か月連続で前年を下回った。軽乗用車（同0.0%増）は横ばいで推移したものの、一般乗用車（同10.4%減）は減少した。

住宅建築：①弱含み。②11月の新設住宅着工戸数（後方3か月移動平均）は前年同月比14.3%減少し、8か月連続で前年を下回った。持家（同0.8%増）は増加したものの、貸家・給与住宅（同10.5%減）、分譲（同4.6%減）は減少した。

設備投資：①振れがあるものの、高水準とみられる。②国土交通省の「建設着工統計」（非居住用）によると、11月の工事床面積（年度累計）は前年同期比59.1%減、工事費予定額は同40.8%減となった。ひまわりベンチャー育成基金（調査研究部門：千葉経済センター）によるアンケート調査*では、企業の投資マインドを示す増減企業割合が、25年度は「横ばい」と回答する先が5割強となる中で、「増加」との回答が「減少」を上回った。

公共工事：①増加。②11月の県内公共工事請負額（年度累計）は、前年同月比34.0%増加した。国（同10.3%減）は減少したが、独立行政法人等（同78.0%増）、市町村（同45.5%増）、県（同8.9%増）で増加した。

輸出：①増加。②11月の成田、千葉、木更津3港合計通関輸出額は、前年同月比18.8%増と25か月連続で前年を上回った。成田空港は医薬品（同190.5%増）、非鉄金属（同65.0%増）などが増加し、同19.7%増と24か月連続で前年を上回った。千葉港は、石油製品（同24.0%増）や化学製品（同5.1%増）などが増加し、同6.3%増と3か月連続で前年を上回った。木更津港は、鉄鋼（同17.1%増）、自動車（同12.4%増）などが増加し、同19.5%増と2か月連続で前年を上回った。

生産活動：①増加している。②10月の県鉱工業生産指数（季調値、2020年＝100.0）は、102.3（前月比4.4%上昇）と4か月連続で上昇した。電気・情報・通信機械工業（同20.3%低下）などが低下したが、石油・石炭製品工業（同6.6%上昇）、食料品工業（同4.3%上昇）、化学工業（同2.9%上昇）などが上昇した。

観光：①底堅い。②県内の観光・宿泊施設では、好調な入込が続いている。クリスマスに関連したマーケットやイルミネーションなどのイベントが、千葉公園（千葉市、12月6日～25日）やふなばしアンデルセン公園（船橋市、12月6日～25日）など各地で開催され、多くの人出で賑わった。

雇用情勢：①人手不足感が強い状態が続いている。②11月の有効求人倍率（季調値）は、前月と同じ0.97倍となった。有効求人数（同0.5%減）、有効求職者数（同0.8%減）はともに減少した。ひまわりベンチャー育成基金のアンケート調査*における雇用実績BSIは、大幅な「不足」超が続いている。

【トピックス】

- 千葉県と成田国際空港会社などは、空港と周辺地域を結ぶ自動物流道路の構築に向けて、国内で初めて、一般に利用される道路の隣接地で貨物搬送用機器を自動走行させる実験を実施した（15日）。
- 政府と県は、九十九里沖での洋上風力発電事業の推進に向けて、「千葉県九十九里沖における協議会」の第1回会合を共同で開催し、同海域を事業者の公募が可能となる「促進区域」に指定するため、地域関係者との協議を行った（15日）。
- 成田国際空港会社は、国、県、地元3市町（成田市・芝山町・多古町）と共に、未取得の滑走路新增設予定地の地権者に対して、用地提供の協力を求める共同声明を採択した（24日）。
- 京成電鉄とイオンリテールは、24年9月に閉店したイトーヨーカドー津田沼店の跡地のビルを「イオンモール津田沼サウス」として26年3月にリニューアルオープンすると発表した（24日）。